

文化都市富川、地域の芸術家と共にローカル芸術市場を活性化

「富川50人の芸術家」発掘およびアートフェアを成功裡に開催
地域の芸術家100人と共に「都市サファリ」芸術市場を運営

文化都市富川は、地域の芸術家と共にローカル芸術市場の成長基盤を構築した。

富川文化財団（以下、財団）は、文化都市造成事業の一環として、地域芸術市場の活性化に向けて「富川50人の芸術家」および地域作家100人の「作」活動の支援を行った。

財団は、今年上半期に公開募集を行い、市民が芸術に触れやすくするために作品の展示と販売を行うまちの芸術商店に参加する作家50人と、芸術家と空間、市民をつなぐ富川型芸術市場である都市サファリに参加する工芸および視覚分野の芸術家100人を選抜した。

◆ 「富川50人の芸術家」の発掘およびアートフェア運営

財団は、「富川50人の芸術家」に対し、芸術家ネットワークおよび教育プログラムを通じて、まちの芸術商店事業に参加できるように支援を行った。まちの芸術商店は、地域の美術市場を構築し、芸術家の活動を支援するために、「まちのアートフェア」と「富川・富平アートフェア」など、地域作家の作品を生活圏内で触れ合い、流通できるように推進したものである。

これを通じて、計250点の作品が出品され、リレーインタビュー記事や放送広報など、様々なチャンネルを通じて作家と作品を広報した。その結果、計39点、約7千万ウォンの作品が販売され、約3万7千人の市民が作品を観覧した。

地域の作家を発掘して紹介する「ブリーズ・アートフェア・ローカルトラック（富川）」に参加し、財団と現代百貨店中洞店の協力を得て、地域芸術家の企画展示も行った。

◆ 地域芸術家100人と共に芸術市場を運営

富川の芸術市場に参加した地域作家から選抜された100人の芸術家は、オリエンテーションおよび芸術流通に向けたオンライン流通教育、推進団の構成など、芸術市場を造成し事業を体系化するための支援を行った。

都市サファリ芸術市場は、季節別に富川の様々な場所で今年計5回開催され、芸術家と市民、空間をつなぐ富川の特徴ある芸術市場として定着した。参加した地域芸術家は計342人（累積）で、約2億2千万ウォン

の芸術品が販売された。これは、ソウルを含め他地域の類似したマーケットに比べても高い水準で、参加した作家の芸術活動に大いに役立つと評価される。

財団は、富川の持続可能な芸術市場造成のために、地域の芸術家を発掘・支援し、芸術の産業化に貢献している。

今後もローカル芸術市場の運営を継続し、作品の知識財産権登録および2次商品・サービス開発の支援など、多様な支援事業を行う予定である。これらの支援を通じて、地域芸術家の活動の機会と社会参加の幅を広げ、作品活動の自立力を育める環境づくりに力を入れていく計画である。



▲9月に開かれた「都市サファリ芸術市場」で、地域芸術家が市民参加イベントを行っている。